

日本核磁気共鳴学会「若手研究者渡航費助成金」平成20年度第二回募集 生体系磁気共鳴国際会議（ICMRBS 2008）参加補助に関するお知らせ

我が国の生体系NMR 研究の基盤強化に多大な貢献を果たされ、また本学会の創立時に理事を努められた故京極好正大阪大学名誉教授のご遺族より、本学会の若手会員の海外におけるNMR国際学会への渡航援助のためにご寄付を頂きました。理事会では、「京極記念基金」として年間数名の若手NMR 研究者に、本会の指定する国際学会への参加登録費用、及び渡航・滞在費用の一部を援助して参りました。昨年度はLAシステムズ社、故阿久津政明氏のご遺族より本基金に多額のご寄付を頂き、さらに渡航援助の枠を広げることにしました。本年度第二回目の募集となりますが、本年8月24-29日、San Diegoにて開催される第23回ICMRB (<http://www.icmrbs2008.org/>)に参加を希望される方の内、下記の資格を満たす方々（5-6名程度）に助成金10万円を授与することに致しました。つきましては、希望される方は下記に示す応募書類を5月末日迄に若手研究者渡航費助成金選考委員会阿久津秀雄委員長 (akutsu@protein.osaka-u.ac.jp)宛てに添付書類として送ってください。

● 応募資格：

- *応募時に35 歳以下であること（但し、助教・准教授など科研費等の代表者、或いは分担者として旅費を全額支払える方を除く）。
- *他の旅費補助金を受けていないこと。なを、受領決定後に補助金を受けられることが明らかになった場合には、速やかに選考会宛にその旨連絡すること。
- *所属する研究室において希望者を選考し、1名のみ応募すること。

● 応募書類：

- *学会発表・論文リスト含む簡単な履歴書
- *本会議に出席を希望する理由：助成金の受領者は原則としてポスター等の発表を予定する者に限ります。従って、本年度のICMRBSのポスター発表申し込み期限は6月14日となっておりますので、要旨が間に合う場合にはそのコピー、間に合わない場合にはポスター発表を申し込んだ時点で要旨のコピーを選考委員会宛にお送りください。
- *助成金が必要である理由（形式は自由）を簡単に記したもの。

● 選考方法：

5月31(日)迄に申し込みのあった応募者から、若干名の援助金受領者を若手研究者渡航費助成金選考委員会において選考し、その結果を会長名で本人宛て通知するとともにHP に掲載する。また、受領者は本年度のNMR 討論会において賞状を持って顕彰する予定です。

● 報告義務：

本基金により助成を受けた方々は、帰国後速やかに参加報告書（形式自由）を添付メールで会長宛てにお送り下さい。なを、この報告書は学会HP 掲載、或いはニュースレターの形で会員宛てに配布されることを前提にお書き下さい。

以上